

## ■景観意識向上への啓発活動の推進

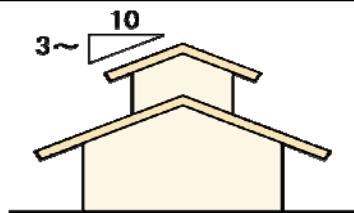
それぞれの地域の実情に沿ったよりきめ細かい啓発活動を行い、地域の景観を大切にする意識の浸透に努めます。また、景観に関する学習を学校教育や生涯学習の分野で推進し、将来世代に対する景観意識の向上と現役世代の景観にかかわる地域貢献を促進します。

## ■景観計画の検証と見直し

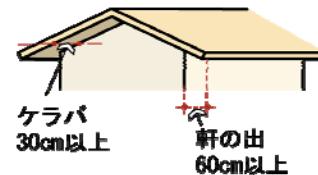
景観計画の実効性の評価と、本市の将来的課題や社会状況の変化などに適切に対応するため、概ね 10 年後を目途に内容の検証を行い、見直しや拡充を行っていきます。

### 解説図

別表第1 屋根の形態



屋根は勾配をつける

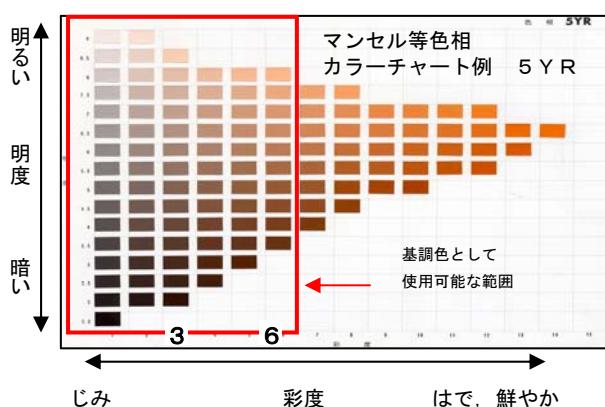


軒とケラバは深くする。(図は外壁面からの寸法を示す。)

別表第2  
避けるべき色  
(彩度の高い色)

\*右表に示した記号及び  
彩度の数値は、マンセル  
表色系に基づくもので  
す。

R (赤) 系の色相で、彩度が4を超えるもの
YR (黄赤) 系の色相で、彩度が6を超えるもの
Y (黄) 系の色相で、彩度が4を超えるもの
GY (黄緑) 系の色相で、彩度が2を超えるもの
G (緑) 系の色相で、彩度が2を超えるもの
BG (青緑) 系の色相で、彩度が2を超えるもの
B (青) 系の色相で、彩度が2を超えるもの
PB (青紫) 系の色相で、彩度が2を超えるもの
P (紫) 系の色相で、彩度が2を超えるもの
RP (赤紫) 系の色相で、彩度が2を超えるもの



別表第3 緑被率の計算

#### i 敷地内空地の計算

敷地面積から指定建ぺい率で計算した建築面積を引く。

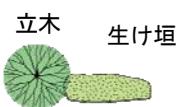
#### ii 緑被の計算

樹冠の水平投影面積を実測するか、  
若しくは下表を用いて算出。

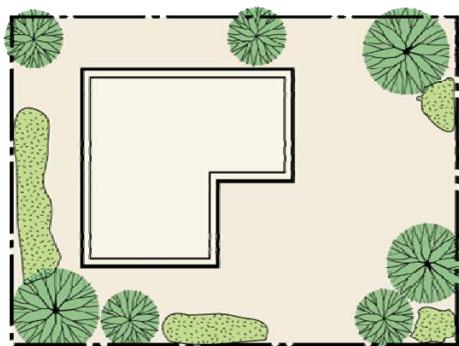
#### ■生け垣の場合

$$\text{緑被面積} = \text{幅} \times 0.6m \times \text{長さ}$$

樹木の高さ	緑被面積
1m以下の場合	0.5 m <sup>2</sup>
1mを超え2m以下の場合	1.5 m <sup>2</sup>
2mを超え3m以下の場合	3.5 m <sup>2</sup>
3mを超え4m以下の場合	6.0 m <sup>2</sup>
4mを超え5m以下の場合	10.5 m <sup>2</sup>
5mを超え6m以下の場合	14.0 m <sup>2</sup>
6mを超える場合	19.5 m <sup>2</sup>



#### 緑被面積の計算



$$\text{敷地内空地面積} = \text{敷地面積} \times (1 - \text{建蔽率})$$

$$\text{緑被面積} = \text{敷地内空地面積} \times 0.1$$